

2018  
2月

# ありがとうファンド 月次運用レポート

第162号②【基準日 2018年1月31日】



## 基準価額の推移



## ファンドの情報

基準価額	19,889円
純資産総額	135億95百万円
口座数	4,745
積立割合	54.7%

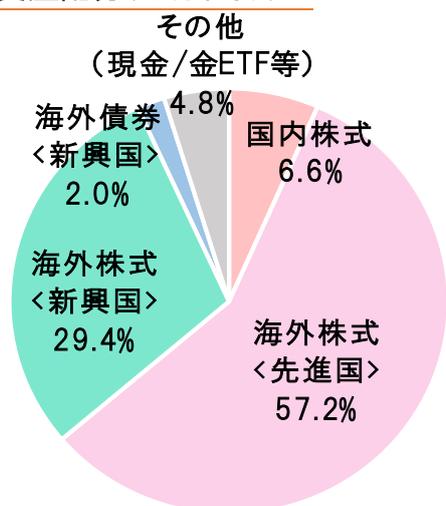


## ファンドの騰落率

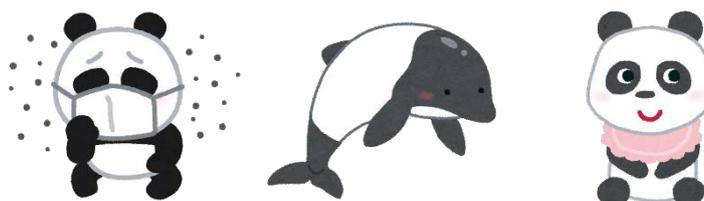
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.6%	+5.2%	+11.5%	+22.9%	+30.7%	+98.0%	+98.9%	5.26%	17.3
TOPIX配当込み	+1.1%	+4.2%	+14.6%	+23.3%	+38.1%	+116.2%	+107.0%	5.57%	22.1
MSCI ACWI (世界, 円)	+2.4%	+5.2%	+13.1%	+24.3%	+32.3%	+107.2%	+203.6%	8.63%	21.7
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国, 円)	+2.1%	+4.9%	+12.4%	+22.8%	+32.1%	+114.2%	+213.0%	8.88%	23.0
MSCI EM (新興国株, 円)	+5.0%	+8.1%	+17.2%	+37.2%	+31.4%	+61.0%	+304.8%	10.98%	25.6

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

## 資産配分(12月末時点)



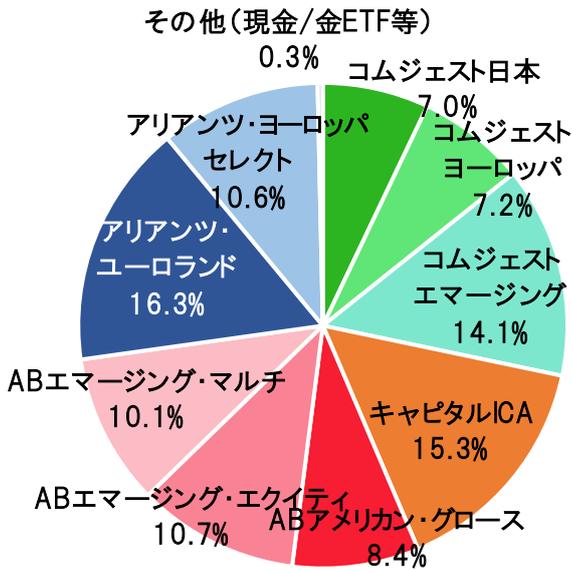
地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.6%	6%	+0.6%
海外株式<先進国>	57.2%	55%	+2.2%
海外株式等<新興国>	31.4%	33%	-1.6%
その他(現金/金ETF等)	4.8%	6%	-1.2%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ポートフォリオ(1月末時点)



## アクティブシェア(12月末時点)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	87%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	88%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマーシング	90%	MSCIエマーシングマーケット
キャピタルICA	開示なし	開示なし
ABアメリカン・グロース	66%	ラッセル1000グロース
ABエマーシング・エクイティ	67%	MSCIエマーシングマーケット
ABエマーシング・マルチ	株式78% 債券20%(注1)	なし
アリアンツ・ユーロランド	70%	S&Pユーロゾーン・ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	67%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注1：ABエマーシング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

## 直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



1月のマーケットはどうだったの？正月明けから上昇続きで、日経平均株価は節目の24,000円を一時回復したってニュースで聞いたけど・・・

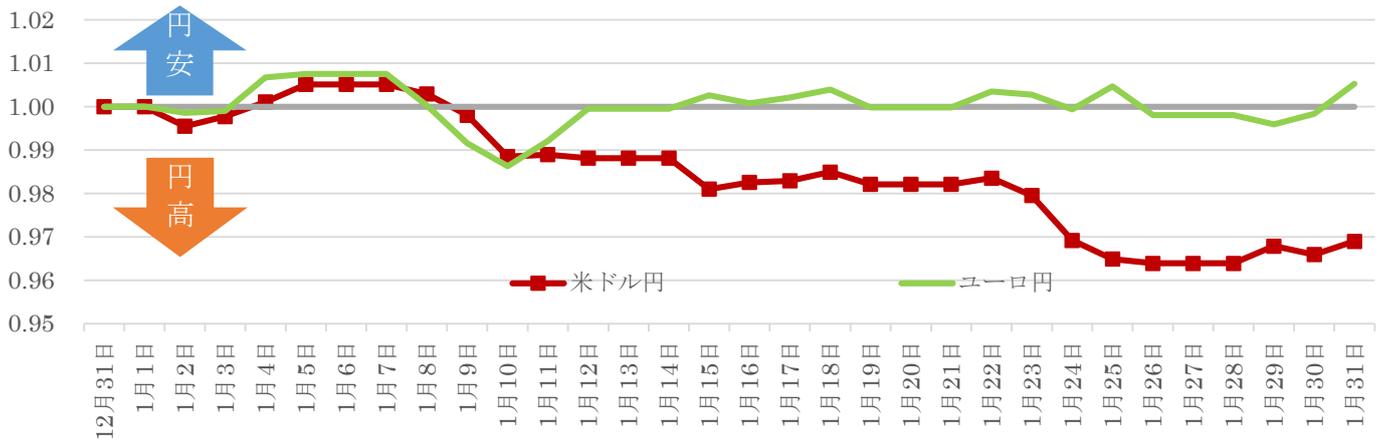


1月のマーケットの動きですが、世界経済の拡大、企業業績の改善期待を背景に上昇した一ヶ月になりました。序盤から中盤にかけては、12月末を本決算期末とする海外企業の本格的な決算発表を前に好業績が期待される銘柄を中心に大きく値を上げる展開で推移しました。特に米国では2017年末に成立した税制改革法案を受けて、業績予想の上方修正が相次いだことなどが上昇に寄与しました。中盤にかけても株式市場は総じて上昇を続けましたが、ドル安・円高が進行したことなどから、やや値の重い展開になりました。終盤は、米国財務長官のドル安容認発言などにより、さらにドル安が進みました。特に日本株式市場では、輸出業中心に業績の悪化が懸念され、やや弱含む展開になりました。

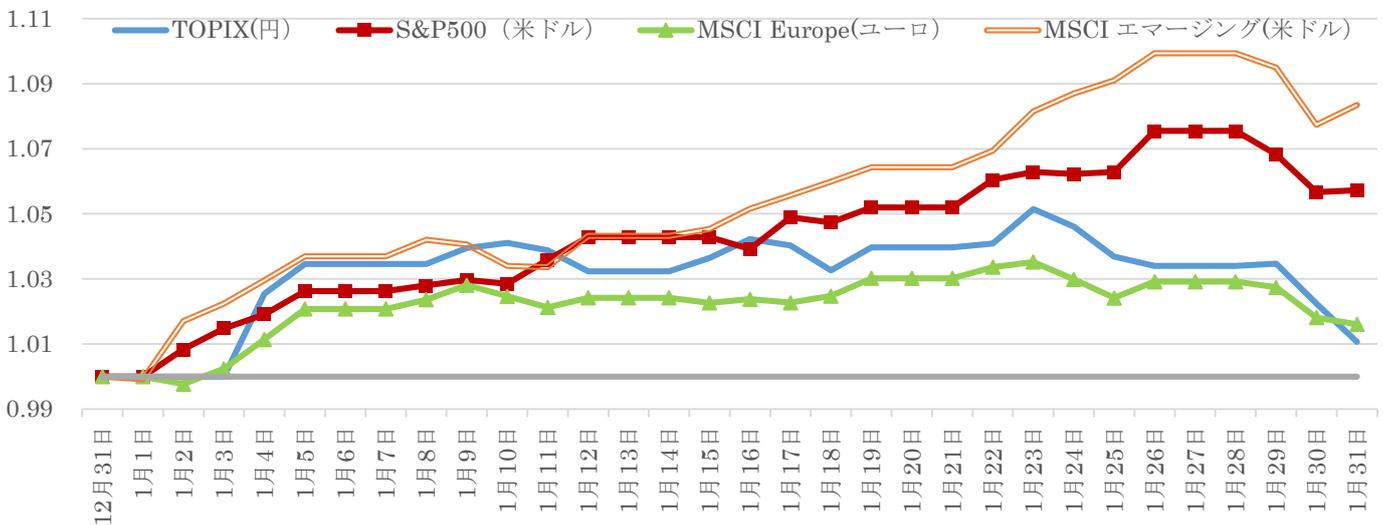
月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は1.06%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで5.73%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで1.61%の上昇、新興国MSCIエマーシング(配当込み)はドルベースで8.34%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が109円台前半と前月末比で円高に転じました。ユーロ/円については135円台後半と前月末比でやや円安基調で月を終えました。

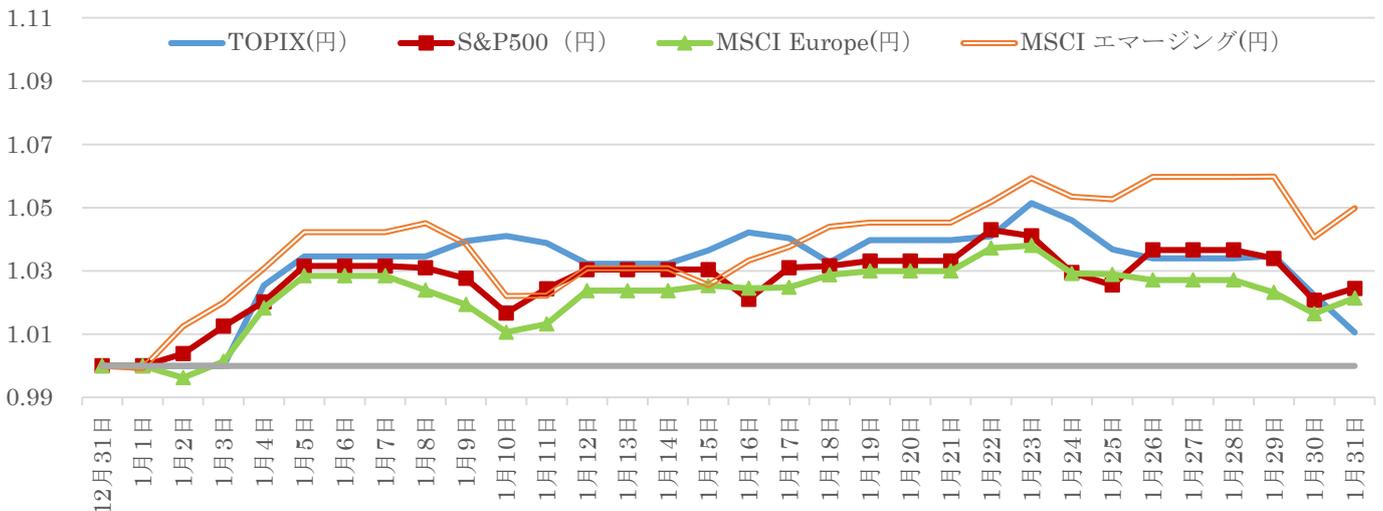
【米ドル円、ユーロ円推移】2017年12月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年12月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年12月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、本格的な決算発表を前に新興国市場と米国市場が大きく上昇しましたが、ドル安・円高基調に転じたことから、円ベースではややマイルドな上昇にとどまりました。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

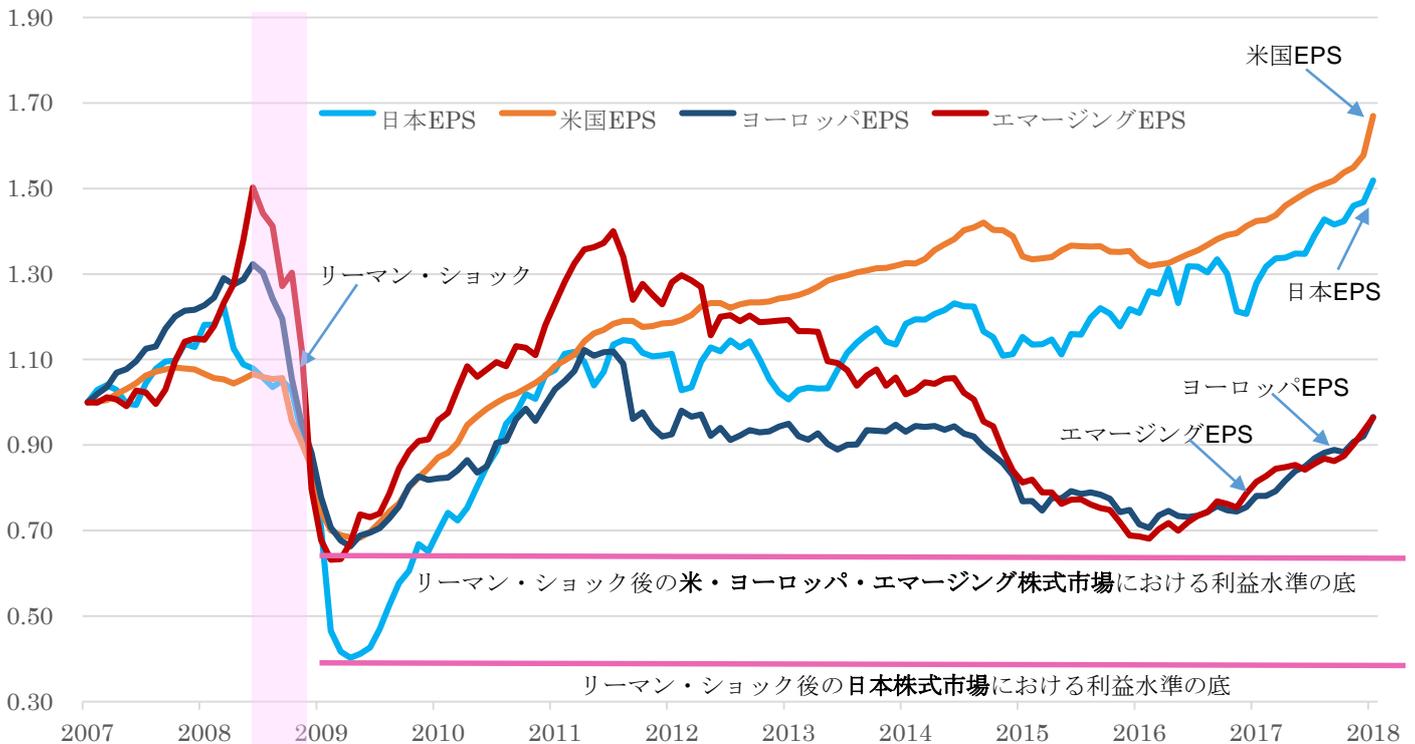
ありがとうファンドの1月間騰落率は2.6%の上昇となりました。主に前月までに保有割合を増やしていたヨーロッパ市場を主な投資対象とするファンドの上昇や、新興国株式を投資対象とするファンドの上昇が大きく寄与しました。

1月中の売買状況については、昨年12月から投資対象として運用可能になったiシェアーズ ゴールド・トラスト(金ETF)の買い付けを開始しました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、北朝鮮問題など一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻しはじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2018年1月末までの推移  
ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

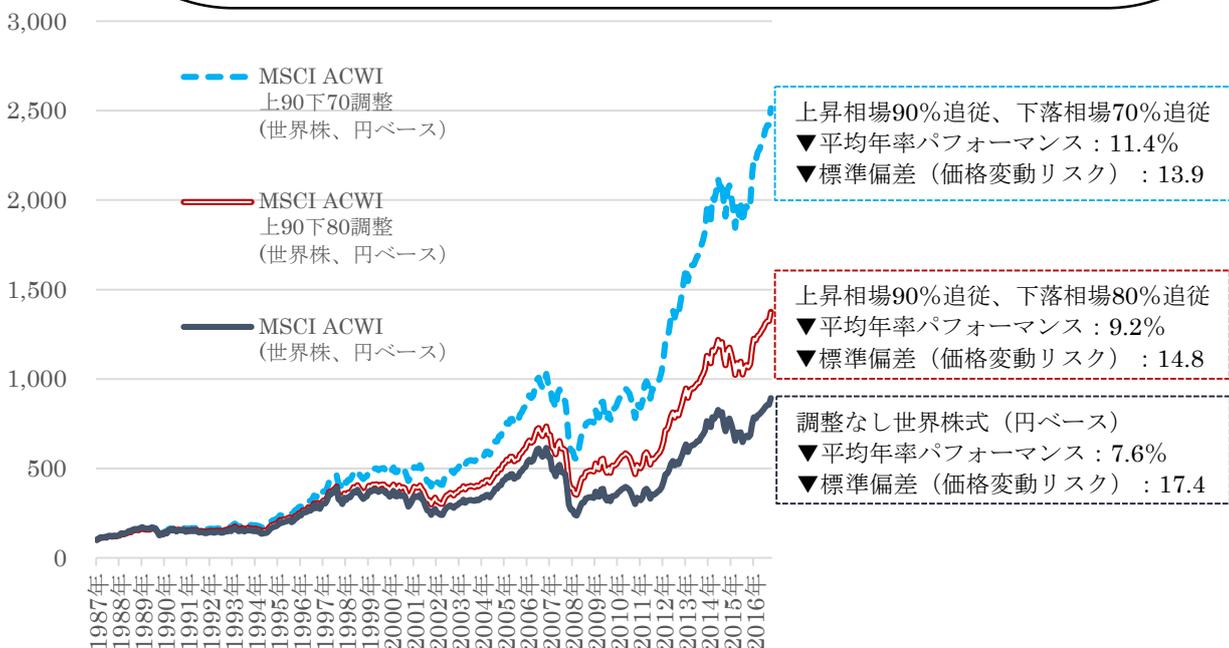
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス  
価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

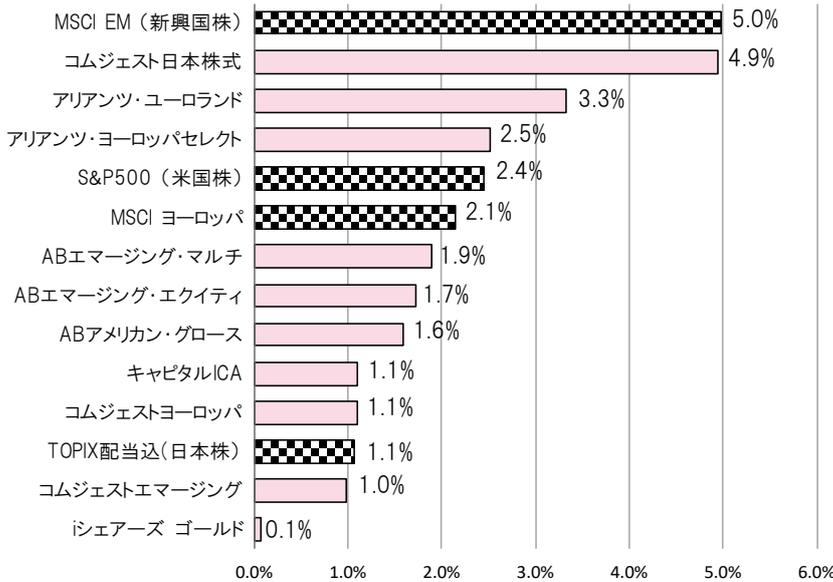


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

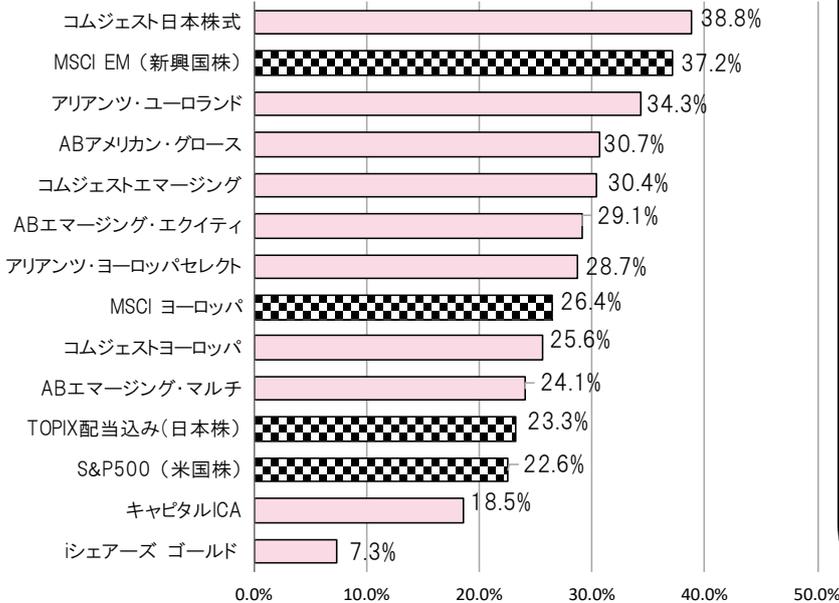


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2018年1月31日時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



月間騰落率については、コムジェスト日本株式、アリアンツ・ユーロランド、アリアンツ・ヨーロッパセレクトファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームし、ありがとうファンドの基準価額上昇に寄与しました。特に、コムジェスト日本株式ファンドは参考指数に対して強いパフォーマンスを実現してくれました。実際に運用を担当されている同社ポートフォリオアドバイザーのリチャード・ケイ氏が弊社との共催セミナー『低成長環境下で成長する日本企業』で解説頂いたクオリティ・グロース企業の成長性が評価されたのではないのでしょうか。特に1月は10-12月期の決算発表がはじまった中、同ファンド組入7位(1月末時点)の後継者問題に直面する中小企業のM&A支援で有名な日本M&Aセンターの決算発表の内容が好感され、同ファンドの基準価額の上昇に大きく寄与しました。ありがとうファンドでは日本株式市場全体については、日銀金融緩和の逆流・人口動態による長期的な内需の弱さなどあまりポジティブな考えは持っていませんが、引き続きコムジェストのように低成長環境下で成長できるクオリティ(質)とグロース(成長)を兼ね合わせた企業に厳選投資するアクティブファンドに期待したいと考えております。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



## 投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジスト日本株式	日本	7.0%	+4.9%	+11.4%	+25.5%	+38.8%			
	TOPIX 配当込み			+1.1%	+4.2%	+14.6%	+23.3%	+38.1%	+116.2%	+16.4%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.4%	+1.6%	+6.5%	+16.5%	+30.7%	+48.6%	+180.9%	+22.5%
3	キャピタルICA	米国	15.3%	+1.1%	+5.7%	+13.0%	+18.5%			
	S&P500 (米国、円)			+2.4%	+5.8%	+14.0%	+22.6%	+40.1%	+150.2%	+19.8%
4	コムジスト ヨーロッパ	欧州	7.2%	+1.1%	+1.8%	+8.1%	+25.6%	+26.0%	+82.2%	+12.5%
5	アリアーツ・ユーロラント グロース	欧州	16.3%	+3.3%	+3.2%	+11.8%	+34.3%	+35.8%	+96.6%	+14.2%
6	アリアーツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	10.6%	+2.5%	+3.6%	+12.1%	+28.7%	+27.1%		
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+2.1%	+3.1%	+10.1%	+26.4%	+21.0%	+74.8%	+11.6%
7	コムジスト エマージング	エマージング	14.1%	+1.0%	+5.4%	+13.0%	+30.4%	+21.9%	+76.9%	+11.9%
8	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.7%	+1.7%	+5.2%	+12.6%	+29.1%	+28.9%		
9	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.1%	+1.9%	+5.5%	+10.6%	+24.1%	+29.7%	+54.8%	+9.0%
	MSCI EM (新興国株、円)			+5.0%	+8.1%	+17.2%	+37.2%	+31.4%	+61.0%	+9.8%
10	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	0.01%	+0.1%	+1.6%	+4.4%	+7.3%	▲3.4%	▲4.6%	▲0.9%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

### 積立投資のメリット



- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい

## 各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄					1月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	5.7%	
2 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.2%	
3 日本電産	日本	資本財・サービス	精密小型から超大型までの幅広いラインナップを誇るモータ事業を中心に、モータの応用製品・ソリューションも手がける。既存事業による成長と積極的なM&A戦略が基本。	4.2%	
4 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	4.1%	
5 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.9%	

◎ニッポンコムジェストヨーロッパファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					1月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッションアパレルのリテイリングカンパニーの一つ	6.8%	
2 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.2%	
3 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.0%	
4 コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、ストーマック製品に強み	4.4%	
5 ザルトリウス・ステディム・バイオテック	フランス	ヘルスケア	ナイロン袋製造会社。病院や研究所で使用する滅菌溶液、および処方薬の袋などの製造に強み	4.1%	

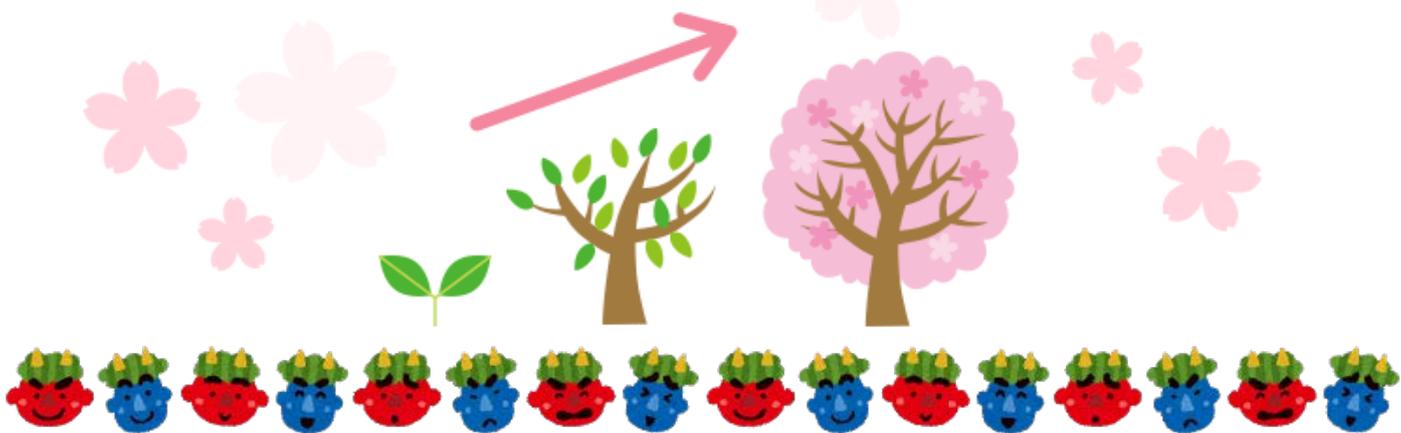
◎ニッポンコムジェストエマーシングマーケットズファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄					1月31日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	5.5%	
2 チャイナ・ライブ(中国人寿保険)	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.7%	
3 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	4.5%	
4 ネットイーズ(網易)	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.1%	
5 コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	4.0%	

弊社はありがとうファンド1つのみ!

お客様のペースに併せて

長期でじっくりお客様の資産を育てていきます



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)  
株式組入上位5銘柄

12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	6.0%
2 VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者。150か国以上に展開。NYダウ30採用銘柄	2.9%
3 MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	2.5%
4 AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.3%
5 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	2.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ  
組入上位5銘柄

12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	9.1%
2 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.6%
3 VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速度かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.5%
4 BIOGEN, INC.	アメリカ	ヘルスケア	多発性硬化症(MS)、その他自己免疫疾患、神経変性疾患、血友病の治療薬の発見、開発、製造、販売に注力する世界的バイオテクノロジー企業。	4.5%
5 APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	4.3%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ  
組入上位5銘柄

12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	6.9%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	5.1%
3 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.7%
4 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	3.1%
5 CHINA TELECOM CORP.,LTD, Class H	中国	通信	有線(固定)および無線(モバイル)の通信サービス事業者。製品およびサービスには、有線およびモバイルでの音声、インターネット、データ管理、専用回線、および統合情報アプリケーションの提供などがある。	2.7%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ  
組入上位5銘柄

12月31日時点

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.6%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)、移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.9%
3 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	2.7%
4 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	2.5%
5 YANGZHIJIANG SHIPBUILDING HOLDINGS	中国	資本財	造船メーカー。商船、小型バラ積み船、多目的貨物船、コンテナ船、ケミカルタンカー、海洋補給船、救助船およびクリーン船などのさまざまな種類の船舶を製造する。	2.3%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース  
組入上位5銘柄

12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.1%
2 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	5.0%
3 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	4.9%
4 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.8%
5 KINGSPAN GROUP PLC	アイルランド	素材	建築資材メーカー。高品質の断熱材と建物外面システムを世界各国で販売する。	3.9%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト  
組入上位5銘柄

12月31日時点

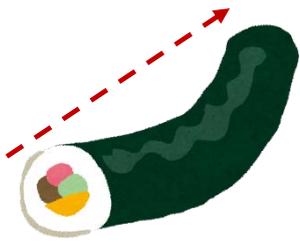
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	7.0%
2 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.3%
3 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	5.0%
4 PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	5.2%
5 RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米・中南米、北アジア、東南アジア・オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・OIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	4.3%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうトピックス



『新興国の成長ドライバーとは？』

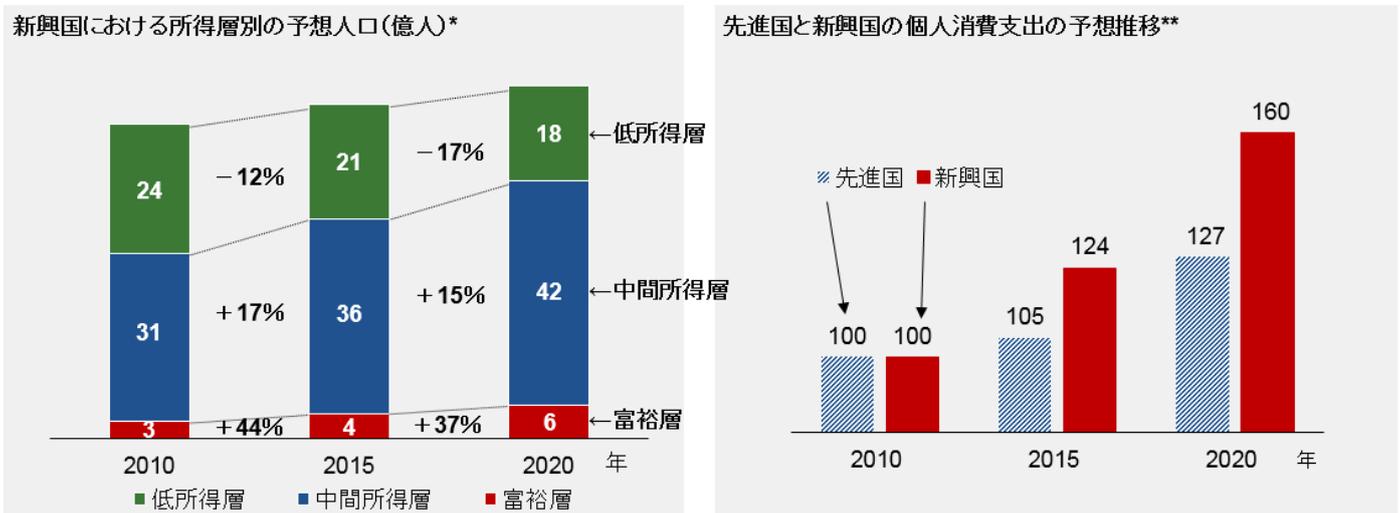


ありがとう投信株式会社  
ファンドマネージャー 真木 喬敏

さて、1月から全国で開催しています『厳選ファンド徹底紹介セミナー』にて今後の新興国市場投資の考え方を実際に投資している個別銘柄の成長ドライバーを基に説明させていただいております。今回の月次運用レポートでも少し紹介させていただきます。

まず、皆さん新興国の主要な産業といったらどのような産業を思い浮かべるでしょうか？ 鉱山採掘、油田など資源関連の産業がまっさきに頭に浮かぶ方も多いと思います。確かに、リーマン・ショック前の BRICs (ブラジル・ロシア・インド・中国の頭文字) と呼ばれた新興国は資源保有国もしくはそういった資源を加工する世界の工場として活躍していた国々でした。よって、資源価格の上昇と共にそういった国々の株価も上昇していました。それでは、最近の新興国株の上昇も同様に資源価格によって牽引されているのでしょうか？ ありがとうファンドが投資している新興国ファンドでは、今後新興国の成長ドライバーは別にあると考えています。今日はその成長ドライバーを簡単に説明させていただきます。

● 図1: 新興国における中間所得層・富裕層の台頭



過去の分析と現在の予想は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

\*世帯可処分所得別の家計人口。各所得層の家計比率×人口で算出。2015年、2020年は予想。

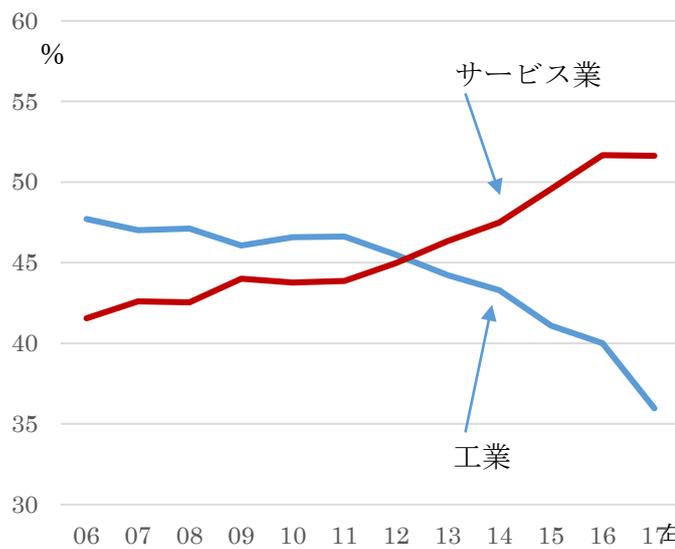
\*\*国際通貨基金 (IMF) が定義する先進国/新興国を構成する国々のうち、データ取得可能な国を対象に、2015年(もしくは取り得る最新)の家計最終消費(対GDP比)と、各国GDP(含むIMF予想)を用いて概算。2010年を100として指数化。2020年は予想。

出所: 通商白書 2013年、世界銀行、IMF、AB

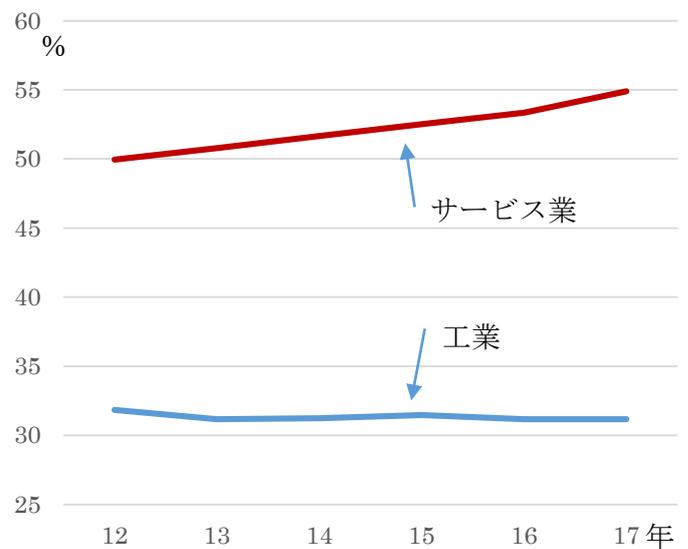
早速成長ドライバーの答えを言いますと、まさに中間所得層・富裕層の台頭です。図1を見て頂くと足元の増加もそうですが、今後においても新興国では低所得層が減り、一方中間所得層、富裕層は増えていく様子が見てとれると思います。また、それらの新興国の個人消費支出は先進国を上回る勢いで拡大していくと考えています。中国のような新興国は確かに世界の工場と呼ばれ、安い賃金でそれこそ日雇いの仕事などが多かった時代もありましたが、今では賃金も上がり、日本のサラリーマンのような雇用形態も増えてきています。つまり、リーマン・ショック前の資源価格が市場を牽引していた時代とは異なり、足元では先進国の仲間入りをはじめるといった構造的な変化が起こっているのです。これからの新興国市場は安い生産力だけではなく、中間層・富裕層の消費力拡大抜きには語れないでしょう。

●図2:「サービス・個人消費」関連セクターが新興国経済の成長ドライバーへ

▼中国の GDP に占める各産業の比率



▼インドの GDP に占める各産業の比率



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、データポイントは各年末時点

図2で示したように、中国とインドの GDP 全体に占めるサービス業の割合が拡大してきています。特に中国では近年 GDP 全体の成長率自体は鈍化してきていますが、それは100年前新興国だった米国や50年前新興国だった日本を見ても同じことだと思います。重要な事は経済全体の成長が鈍化する中でも伸びる産業はあるという点です。工業から個人消費の恩恵を受けやすいサービス業への経済活動の変化は構造的な変化と言えるでしょう。具体的な例をいくつか挙げるとすると、例えば教育銘柄などがあります。経済全体の成長が鈍化してゆく中で、より良い仕事に就こうとすれば、一つの基準としてより高い学歴が要求されると考えられます。そういった環境下で高度な教育に対する需要は大きいでしょう。他の例としては、最近日本を訪れる海外旅行者は増えています。その多くは爆買いに象徴されるように中国人の方々も多いのですが、なにも海外旅行だけでなく、中国国内旅行も所得が増えるにつれ増加の傾向にあります。そういった中国国内旅行の需要増の恩恵を受けている大手ホテルチェーンもサービス業の一つの例でしょう。さらに旅行関連で、アジアの新興国と同様中間層の台頭がめざましいハンガリーなどの東欧でシェアを伸ばしている LCC エアラインなども個人消費拡大の恩恵を受けて成長すると考えられます。また、ファッションに対する消費も増えており、カラーコンタクトレンズを製造している会社にも今後の成長性を垣間見ることができます。あげればきりがありませんが、もし詳細が気になるようでしたら、今開催しているセミナーに参加頂けますと幸いです。

● 図3:新興国株式市場の推移(円ベース)



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、1996年年初を100として指数化、2018年1月31日までの推移

● 図4:値動きの大きさの推移(250営業日価格変動リスク推移、円ベース)



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、2018年1月31日までの推移

図3に示したように、今回の上昇相場はリーマン・ショック前の上昇相場と比べると、牽引しているドライバーが異なる点をご理解いただけたでしょうか？最後に、価格変動リスクの話もさせていただきます。新興国株式市場は確かに価格変動リスクという観点でみると、先進国に比べると以前リスクは高いです。しかしながら、図4で見られるようにその幅もかなり狭まってきました。中間所得層の増加による消費力の拡大という成長ドライバーがあり、かつ以前と比べるとリスクも低位になってきたことから、当ファンドとしては長期投資の対象として新興国市場は最も魅力のある地域と考えております。セミナーの方では、こういった消費拡大の恩恵を受ける銘柄の成長ドライバーを説明しながら、少しでも我々の長期投資のスタンスについて感じて頂けたらと考えておりますので、お時間にご都合つきましたら是非参加頂けると幸いです。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 🌸 ありがとう 39 クッキング : どうする正月太り? ヘルシー豆腐ハンバーグ

何事も継続が重要かと思いますが、正月だからと気が緩み、今までのダイエット生活をリセットしてしまいました・・・皆様は、いかがお過ごしでしょうか? 長期投資も同じだと思いますが、好きなもの、興味のあるものは続くものです。30代前半のオッサンが言うのもなんですが、私の大好物の一つはハンバーグです。今月は、食べたいが確実に太るというジレンマを解決してくれる一品を紹介させていただきます。写真内の量は多いですが、小分けにしてお弁当にしていますので、特段問題ない理解でございます・・・

### ▼材料(2人分くらい)

- 木綿豆腐 1/2丁
- 鳥ムネひき肉 150g
- 卵 1つ
- 長ネギ 約1/3
- 乾燥ひじき 少々
- すりおろし生姜

### 【キノコソース】

- 好きなキノコ数種 適量
- 酒 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 醤油 大さじ1
- 水 40ccくらい

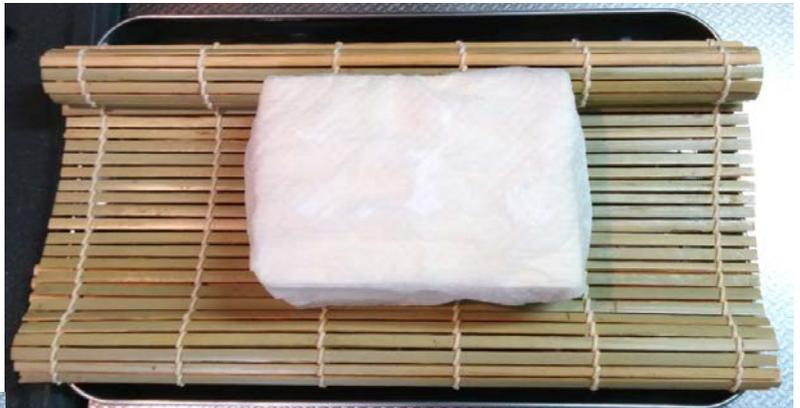


### ① 木綿豆腐の水切り

料理も投資も仕込が重要という事で、時間のかかる順から始めましょう。木綿豆腐をキッチンペーパーで包み、重しを載せて30分ほど放置します。

手元にあった巻き寿司用の『巻きす』を使いましたが、無い場合はザルなど工夫しましょう!

### ↓ 30分放置後の木綿豆腐



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

**②水切りをしている間に乾燥ひじきを水で戻し、長ネギ、キノコソースの具などを処理しましょう。**

長ネギは小口の荒目で、キノコは旬のキノコを選んでみるといいかもです。最近には特に葉物が高いので、こういったところで野菜を増やす戦略で家計を削っております。



**③鳥ムネひき肉、木綿豆腐、卵、長ネギ、ひじき、すりおろし生姜、片栗粉をボールで混ぜ合わせます。**

こねるのに集中しすぎて、写真撮るの忘れちゃった…。誠に申し訳ございません。なかなか普通のハンバーグのようにうまくまとまらないので、ある程度粘ってきたら焼きましょう。イメージとしては『つくね』のような感じです。

**④焼きます！ソース作ります！**

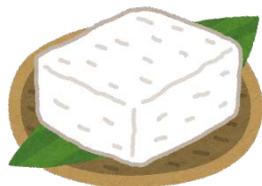
結構すぐに火が通るので、サッと両面焼いたら、弱火で火を通しましょう。キノコソースは軽くキノコを炒めた後、水、酒、みりん、醤油に加え、みりんの照りが出てきたあたりで弱火にして、水溶き片栗でとろみをつけます。



**⑤食べます！ダイエットが続くよう、色々な味付けで『チャレンジ』しましょう！**

飽きないように色々な味付けを試してみましょう。例えば、照り焼きや、大根おろしと青しそ刻みにポン酢でさっぱり和風も美味しかったです。

お勧めのコンビネーションありましたら是非お知らせください！



◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

## 🌸 ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

